食は私たちの毎日の生活を支える大切なものです。
食とは、食物を食べること・食べるためのものという２つの意味を持ちます。
栄養の偏り（食物を食べること）や食品ロス（食べるためのもの）などさまざまな問題がある中で、「食」の大切さについて本特集で考えます。

〖PHOTO〗
背の高い、大きく育つ稲の苗は意外にも小さいという発見の瞬間

知る / learn

〈1〉食育

食育とは、「食」に関する知識や選択力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てる教育のことです。食育に取り組む機会は生涯にわたり数多くあります。

村では、学校教育の場で積極的に取り組んでおり、食材の特徴や特性について考え学ぶ授業や、自らが収穫などを体験する授業が行っています。

それにより、子どもたち一人ひとりの食に対する意識が向上し、基礎的な知識（食材の名前・種類、栄養素と役割、食材の旬や季節感、食材の育ち方・収穫のされ方、食材に関わる人や仕事など）を身に付けることができます。

また、自ら収穫した食材は給食で提供されることもあり、「自分で収穫したものを食べる」ことで、食材に対する興味・親しみが強くなり、健康的な食習慣の形成や食に関する感謝の心を育むことができるようになります。

食を知ることは、「食材＝ただのモノ」ではなく、「命・自然・人・社会」とつながるものとしてとらえられるようになります。それが、食材への感謝や選ぶ力、持続可能な食生活につながっていきます。

1

2

〖PHOTO〗
1 田植えを実施中
2 トウモロコシの皮むき体験